

弘前市立百石町展示館で 12 日開催 第 3 回 DX 情報懇談会に 21 名が参加

第 3 回 DX 情報懇談会が 10 月 12 日、弘前市立百石町展示館で開催され、県内各地の DXer はじめ新潟県、山形県から 21 名が参加しました。



第 3 回 DX 情報懇談会に新潟県新発田市・長岡市、山形県新庄市などから 21 名が参加

同懇談会は JARL 県支部の会員有志が DX 通信の発展を目的に世話人会を結成して、3 年前から毎年秋に実施。今回は「FT8 リモート運用解説」、「DX バケーション報告」、「FCC 試験のススメ」の 3 講座で開講しました。

JJ7KKM 奥瀬さん（鶴田町）が「FT8 リモート運用について」と題して、離れた場所からパソコンを駆使、リアルタイムで海外局を追いかける制御ソフトなどについて解説しました。参加者のなかには帰宅後、奥瀬さんお薦めのソフトをダウンロードして翌日からリモート運用を始めた方がいました。

JO7GVC 中西さん（平川市/NH2LL）は、オーストリアの IAEA（国際原子力機関）が開設する 4U1VIC からのゲスト運用、KH2 グアムと VK9 ノーフォーク島や BV 台湾での”お気楽・お手軽海外運用（DX バケーション）”を報告しました。



JJ7KKM 奥瀬さんの「リモート運用解説」



JO7GVC 中西さんの「DX バケーション報告」

仙台市を拠点に活動する米国ハム試験（FCC 試験）ボランティア試験官「みちのくVEC」の代表、JH0MGJ 黒井さん（新潟県新発田市/AL5A）が特別講師で来県。「FCC 試験のススメ」をテーマに試験問題、コールサイン発行状況、米国連邦内での無線運用上の注意点などを説明しました。



FCC 試験について講義する JH0MGJ 黒井さん



県内外の DXer が百石町展示館で受講

閉会后、会場を移動して懇親会と二次会が開かれ、最新無線機の長所と短所の情報、アパマンハムの苦労話、地域クラブや専門クラブの活動状況などの話題で盛り上がりました。



懇親会参加の県内 DXer



県外 DXer を交えての懇親会



話題が尽きない二次会

FCC 試験で 1 Day Extra 級が誕生!!

翌 13 日、平川市の農村環境改善センターで FCC 試験が実施され、JH0MGJ 黒井さんら県外 DXer 3 名、JO7GVC 中西さんら地元 3 名がボランティア試験官（VE）を務めました。八戸市からの受験者が初級・中級・上級を全て 1 回で合格し“1 Day Extra 級”の誕生となりました。



受験前の説明



英文の問題を解く受験者



採点中の VE

〈 DX 情報懇談会 世話人会 〉

JA7AUM 石戸谷、JA7AXP 川村、JA7BAL 佐藤、JH7BVH 高田、JR7GBL 平川、JK7LXU 石岡（世話人会事務局）※文章責任者